

令和 8 年度学校評価

学校名（宮島小・中学校）

評価計画					自己評価					学校運営協議会 委員評価コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 8月	最終 2月	達成度	評価	結果と課題の分析		
小中一貫教育 のよさを最大 限に生かす学 校運営	◎4・3・2制の メリットを生か して、9年間で 育てる。	コミュニケーション 能力(助け合い・認め 合い・支え合い)を育 成するために、プロ ック活動を充実させ る。	「ブロック目標を達成 することができた。」と答 えた学園生の割合(4・ 7・9年)	85%	【前期】	【前期】	【前期】	【前期】			
			「ブロック目標を達成し ようと意識することが できた。」と答えた学園 生の割合 (1・2・3・5・6・8年)		【中期】	【中期】	【中期】	【中期】			
			課題の解決に向けて、 自分で考え、自分から取 り組む児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調 査生徒質問紙)		【後期】	【後期】	【後期】	【後期】			
地域の財産(歴 史、文化、自然) を学ぶ教育体 系の確立	◎自己の将来、 宮島の将来を 考える力を育 てる。	主体的・協働的に課 題を解決していける 児童生徒の育成を 目指し、対話を通し て考えを深めさせ、 自分の考えを表現 できる力を育てる ための校内研究の 充実を図る。	「学級の友達との間で話 し合う活動を通じて、自 分の考えを深めたり、 広げたりすることがで きている。」と答えた学 園生の割合	83%							
			「自分の考えを周りの人 へわかりやすく伝えよ うとしている。」と答え た学園生の割合	85%							
多様な学園生 の育ちの場の 提供	基本的な生活 習慣(あいさ つ)の確立をさ せる。	発達段階に応じた行 動目標を児童生徒に 提示し、その姿を 日々評価する。	「あいさつは、自分から 進んでします。」と答え ている学園生の割合	90%							
	多様な価値を 受け入れ、認め 合える集団を つくる。	学園生の特性に応じ た支援について外 部の専門家と意見交 換し、内容や支援方 針を全教職員で共通 理解する。	「宮島学園は、安心して 過ごすことができる学 校です。」と感じている 学園生の割合	90%							
ワークライフバ ランスのとれ た元氣な職場	目的やスケジ ュールを意識す ることで、組織 的な取組を実 施する。	目標達成に向け、行 事のスケジュールを 意識し企画運営委員 会、分掌会及びプロ ック会を計画的に実 施し、状況を共有す る。	タイムマネジメントを意 識することで、「子ども と向き合う時間が確保 できている」と感じてい る教職員の割合	75%							
			「児童生徒の表現力を高 めるために『学園生が表 現したくなる導入の設 定』や『考えを深め広げ させるための話し合い 活動を仕組む』等の工夫 をしている。」と感じて いる教職員の割合	85%							